

●手賀沼水面鳥類センサス結果

調査日:2014年6月17日、7月16日、8月14日(9:00~12:00)

| 科名 | 種名 | 個体数(6月) | (7月) | (8月) |
|--------|---------|---------|------|------|
| カモ | カルガモ | 7 | 39 | 38 |
| カイツブリ | カイツブリ | 19 | 19 | 37 |
| ウ | カワウ | 95 | 96 | 110 |
| サギ | ヨシゴイ | 1 | 0 | 0 |
| | ゴイサギ | 0 | 0 | 1 |
| | アオサギ | 6 | 4 | 5 |
| | ダイサギ | 0 | 1 | 7 |
| | チュウサギ | 0 | 0 | 1 |
| | コサギ | 0 | 3 | 5 |
| クイナ | バン | 0 | 0 | 1 |
| | オオバン | 13 | 3 | 11 |
| カモメ | コアジサシ | 0 | 0 | 1 |
| ミサゴ | ミサゴ | 0 | 0 | 1 |
| タカ | トビ | 0 | 2 | 0 |
| カワセミ | カワセミ | 2 | 1 | 1 |
| モズ | モズ | 0 | 0 | 0 |
| カラス | ハシボンガラス | 1 | 1 | 4 |
| ツバメ | ツバメ | 2 | 2 | 0 |
| 家禽や外来種 | コブハクチョウ | 25 | 29 | 36 |
| | アヒル | 1 | 4 | 2 |
| | バリケン | 1 | 0 | 2 |
| 合計* | 18種 | 146 | 177 | 223 |

*家禽や外来種を除く

●岡発戸の谷津田鳥類センサス結果

調査日:2014年6月19日、7月24日、8月20日(9:00~12:00)

| 科名 | 種名 | 個体数(6月) | (7月) | (8月) |
|--------|----------|---------|------|------|
| キジ | キジ | 3 | 0 | 0 |
| ハト | キジバト | 0 | 1 | 4 |
| サギ | アオサギ | 1 | 1 | 1 |
| タカ | オオタカ | 1 | 0 | 0 |
| カワセミ | カワセミ | 1 | 0 | 0 |
| キツツキ | コゲラ | 3 | 1 | 1 |
| モズ | モズ | 2 | 0 | 0 |
| カラス | ハシボンガラス | 11 | 3 | 11 |
| | ハシブトガラス | 12 | 4 | 3 |
| シジュウカラ | シジュウカラ | 8 | 6 | 10 |
| ツバメ | ツバメ | 4 | 2 | 4 |
| ヒヨドリ | ヒヨドリ | 28 | 25 | 14 |
| ウグイス | ウグイス | 5 | 7 | 1 |
| エナガ | エナガ | 2 | 4 | 0 |
| ムシクイ | ムシクイ科の一種 | 0 | 0 | 1 |
| メジロ | メジロ | 5 | 0 | 7 |
| ヨシキリ | オオヨシキリ | 6 | 0 | 0 |
| ムクドリ | ムクドリ | 3 | 30 | 0 |
| スズメ | スズメ | 48 | 29 | 44 |
| セキレイ | ハクセキレイ | 1 | 3 | 0 |
| アトリ | カワラヒワ | 5 | 7 | 0 |
| ホオジロ | ホオジロ | 9 | 9 | 0 |
| 合計* | 21種 | 158 | 132 | 101 |

*家禽や外来種を除く

あびこ鳥だより

Autumn
2014
【秋号】

ABIKO BIRD MUSEUM LETTER Vol.39



ミュージアムショップからのお知らせ

第69回企画展「山階コレクション展」 限定商品販売中!

- 企画展オリジナルバッチ 価格:100円
- 山階鳥類研究所クリアファイル 価格:150円
- オーデュボン絵はがき 価格:150円

販売場所:鳥の博物館2階ミュージアムショップ



オリジナルバッチ (全15種)

利用案内

- 開館時間 午前9時30分~午後4時30分
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)
館内整理日、年末年始(12/29~1/4)

| | 区分 | 個人 | 団体 |
|---------------------|---------|------|------|
| 入館料 (当日有効) | 一般 | 300円 | 240円 |
| | 高校生・大学生 | 200円 | 160円 |
| 3館共通入館料 (1か月有効)* | 一般 | 600円 | / |
| | 高校生・大学生 | 400円 | |

・入館料免除の方①70歳以上の方 ②障害者手帳をお持ちの方(付き添い1名含む)

・中学生以下の方は入館無料

*白樺文学館、杉村楚人冠記念館との共通券

●お問い合わせ:我孫子市鳥の博物館

〒270-1145 千葉県我孫子市高野山234-3

☎:04-7185-2212 FAX:04-7185-0639

ホームページ: <http://www.bird-mus.abiko.chiba.jp/>

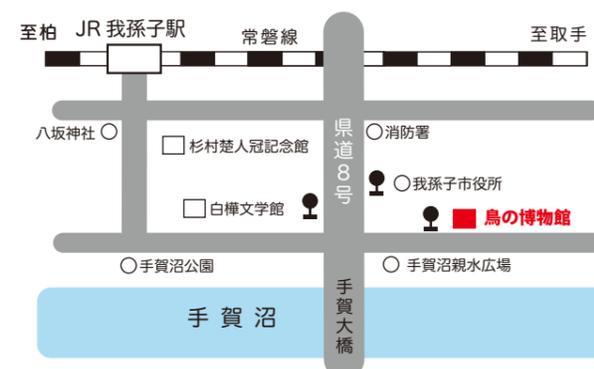
交通案内

JR 我孫子駅南口バス停より市役所経由

バスで「市役所」下車、徒歩5分

*毎週土日祝日は博物館行きのバスが運行しています

我孫子駅南口バス停より、天王台行きバスで「鳥の博物館」下車
天王台駅南口バス停より、我孫子駅行きバスで「鳥の博物館」下車
自動車利用の方は地図をご覧ください(駐車場無料/大型バス駐車可)



【特集】

・溪流への誘い ~カワガラス~

【最新情報】

・ジャパンバードフェスティバル2014開催!

・第70回企画展「友の会展」が開催されます

表紙の鳥 ミサゴ (写真 久野公啓さん)

「溪流への誘い～カワガラス～」

一直線に飛んでいく黒い影

溪流で釣りをしていると、水の上を一直線に飛んでいく黒い影を見た、なんていうことはありませんか。それはおそらく「カワガラス」です。カラスとは言っても、身近なハシブトガラスやハシボソガラスなどのスズメ目カラス科の仲間ではなく、スズメ目「カワガラス科」という小さなグループ（1属5種、日本ではこの内の1種のみ）の鳥です。この科の鳥はスズメ目の中で唯一、水の中に潜ることができます。水底を歩いたり、時には泳ぎながら、水生昆虫（特にカワゲラ類・トビケラ類・カゲロウ類の幼虫）を採食します。小魚も食べます。スズメと比べるとあしはがっしりしていて、趾（あしゆび）も長いのが特徴です。全身濃茶褐色で、翼と尾はやや黒褐色です。留鳥で、全国の平地から山地の河川、溪流沿いに生息しています。実際に見たことがある人は多くないかもしれませんが、登山や溪流釣りをする人にとっては、よく見かける鳥と言えるのではないのでしょうか。



カワガラス

カワガラスを観察しました

私は2013年9月中旬と11月初旬、2014年9月初旬に福島県喜多方市の川沿いでカワガラスを見ました。2014年5月にも同じ場所に行ってみました。残念ながら姿を確認することはできませんでした。その場所で最初にカワガラスを見たのは、私が川の中にいる時でした。箱メガネを持って川底の水生昆虫や魚を観察していた時です。「ビビッ、ビビビビ」という音が聞こえてきました。「セミ？何か違うな。」と思いつつ顔を上げると、黒い鳥がパッと目の前を通り過ぎました。川に沿うように、早く、低い位置を一直線に飛んでいきました。カワガラスは尾が短めで、あしはやや長く、ずんぐりとした体形です。飛ぶ姿は「慌てて飛んでいく」という言葉がぴったりです。そっと追いかけると、また鳴きながら飛んでいって、また追いかけてを繰り返して観察しました。



カワガラスが生息する溪流にはこんな生き物もいます



羽づくろい中のカワガラス
まぶたと瞬膜が白っぽい（写真で見えているのはまぶた）



採食中のカワガラス
主にカワゲラ類・トビケラ類・カゲロウ類を食べる

川に入って採食します

カワガラスを観察していると、その時間の半分程は採食をしています。それ以外の時は、石の上で休んだり、羽づくろいをしています。流れのある浅瀬を、ひょこひょここと歩きながら水中を覗くその姿は、スズメ目の鳥とは思えない程です。やや深そうなところでは泳ぎます。水の流れに任せるようにして移動している時は、流されているようにも見え、思わず笑ってしまいます。カワガラスはよく潜るので、観察中は何度も見失い苦労します。流れが速いところではなおさらです。

水から出ると立派なあしがよく見えます。あしは前面部だけ銀白色で、後面は濃褐色です。水底を歩いたり、水中で翼を使って泳ぐため、趾が多少幅広い（水かきに近い役目）のが特徴です。特別に発達した、滑りにくい趾のたこは、水に入るのに都合がよいのです。



休憩中のカワガラス
基本、休憩は短めでよく水に入る

カワガラスは日本のスズメ目の中で、最も早い時期に繁殖する鳥の一つです。営巣場所は、橋の裏やダムなどの人工物、また、滝の裏や石の隙間などです。コケ類を使用して、側面に入口のある丸い形（ボール形やドーム形）の巣をつくります。地元の方と話したところ、巣の場所を知っているという方がいました。よい時期に巣も観察できたら、またこの場で紹介しようと思います。

ジャパンバードフェスティバル 2014 開催！

ジャパンバードフェスティバル(Japan Bird Festival/略称:JBF)は、我孫子市手賀沼周辺で行われる、鳥をテーマにしたイベントです。行政・NPO・学生・市民による鳥と自然環境に関する研究・活動の発表、鳥の彫刻・絵画・写真展や工作教室、船上バードウォッチングやスタンプリングなどが催されます。

鳥の博物館でも様々な催しを企画しています（下表）。山階鳥類研究所と共催の鳥学講座では「鳥類学者 無謀にも恐竜を語る」の著者である川上和人さんを講師に招き、恐竜から鳥への進化や体のしくみについてお話いただきます。

JBFの期間中、博物館は入館無料です。ぜひご来館ください。

開催期間：11月1日（土）9：30～16：00 11月2日（日）9：30～15：00



鳥の博物館のイベント

| 日時 | イベント | 場所 | 定員（先着） | |
|----------|-------------|--|--------------------|------|
| 11月1日（土） | 10:00～11:00 | 鳥を呼ぶピーナッツリリースづくり | 30名 | |
| | 13:00～14:00 | てがたん in JBF | 15名 | |
| | 13:30～15:00 | 鳥博クイズ | なし | |
| | 14:30～16:00 | 鳥学講座「恐竜だって、本当は鳥みたいになりたい」 講師：川上和人さん（森林総合研究所主任研究員） | アピスタ（我孫子市生涯学習センター） | 120名 |
| 11月2日（日） | 10:00～11:00 | 鳥を呼ぶピーナッツリリースづくり | 30名 | |
| | 10:30～11:30 | ゲストトーク「地域の団体が連携して取り組む海鳥・海獣調査」 ゲスト：千嶋淳さん（NPO法人 日本野鳥の会十勝支部） | 手賀沼親水広場水の館 | 50名 |
| | 13:00～14:00 | てがたん in JBF | 15名 | |
| | 13:30～15:00 | 鳥博クイズ | なし | |

第70回企画展「友の会展」がはじまります

鳥の博物館友の会が開催する「友の会展」は今年で11年目を迎えます。友の会には、デジカメ同好会、鳥凧同好会、鳥絵同好会、みて歩こう会、万葉集同好会があり、各同好会の日頃の活動や作品をご紹介します。

また、会員の皆さんの鳥の観察をまとめた我孫子周辺の鳥情報も展示する予定です。

展示期間：12月13日（土）～2015年1月25日（日）



過去の友の会展の様子

イベント情報

●企画展

- 第69回企画展「山階コレクション展」
期間：7月12日（土）～11月30日（日）
- 第70回企画展「友の会展」
期間：12月13日（土）～2015年1月25日（日）

●自然観察会*

- てがたん～手賀沼定例探鳥会～
時間：10：00～12：00
集合場所：博物館入口（予約不要）
10月11日（土） 「イネ科・カヤツリグサ科の植物」
11月8日（土） 「カモの衣替え」
12月13日（土） 「初冬の散歩道」

●講演・座談会

- 鳥学講座
日時：11月1日（土）14：30～16：00（14時15分開場）
場所：アピスタ（我孫子市生涯学習センター）
定員：先着120名（参加無料）
テーマ：「恐竜だって、本当は鳥みたいになりたい」
講師：川上和人さん（森林総合研究所主任研究員）

○テーマトーク*

- 時間：毎月第2土曜日 13：30～14：00（11月はありません）
場所：博物館多目的ホール
定員：先着50名（参加無料）
講師：山階鳥類研究所員

*自然観察会は高校生以上の方は保険料100円がかかります 館内で行うイベントは参加無料でも入館料が必要です